

## 2. 活動報告（注1）

|                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |        |        |        |        |        |        |    |     |     |    |    |    |
|-------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|----|-----|-----|----|----|----|
| 番号                | 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |        |        |        |        |        |        |    |     |     |    |    |    |
| テーマ               | らしさの探求（リトミック）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |        |        |        |        |        |        |    |     |     |    |    |    |
| 実施回数・期間<br>（注2）   | 令和7年4月～令和8年3月 毎月各クラス3回                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |        |        |        |        |        |        |    |     |     |    |    |    |
| 対象クラス・<br>対象人数    | <table border="1"> <tr> <td>0歳児クラス</td> <td>1歳児クラス</td> <td>2歳児クラス</td> <td>3歳児クラス</td> <td>4歳児クラス</td> <td>5歳児クラス</td> </tr> <tr> <td>6人</td> <td>10人</td> <td>11人</td> <td>8人</td> <td>6人</td> <td>7人</td> </tr> </table>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 0歳児クラス | 1歳児クラス | 2歳児クラス | 3歳児クラス | 4歳児クラス | 5歳児クラス | 6人 | 10人 | 11人 | 8人 | 6人 | 7人 |
| 0歳児クラス            | 1歳児クラス                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 2歳児クラス | 3歳児クラス | 4歳児クラス | 5歳児クラス |        |        |    |     |     |    |    |    |
| 6人                | 10人                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 11人    | 8人     | 6人     | 7人     |        |        |    |     |     |    |    |    |
| 活動内容<br>（注3）      | <p>子どもの持つ表現力、注意力、判断力、集中力、しこうりよく、創造力といった基礎的な能力を育み、音楽的感性や、能力を高めることを目的とし月に3回講師の指導の下リトミック活動を行った。詳細は別紙報告書にて。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |        |        |        |        |        |        |    |     |     |    |    |    |
| 活動における<br>チェックリスト | <p>グループ単位での活動等により、乳幼児同士の対話、関わりを促した。</p> <p>※乳幼児同士の関わりを促すためにどのような工夫をしたか<br/>子どもたちが表現をする中で、それぞれを認められる声掛けを意識した。音に合わせてグループで表現するプログラムの提案をした。</p> <p>活動中の乳幼児の言葉、表情、ジェスチャー等の表現に着目し、メモ・写真・映像等で記録した。</p> <p>※記録をどのように行ったか<br/>主に写真と文章で行った。</p> <p>乳幼児一人ひとりが主体的に活動できるよう配慮した声掛け等を行った。</p> <p>※主体的な活動のためにどのような工夫をしたか<br/>ひとりひとりのイメージや表現を邪魔しないよう、認める声掛けや動きやすい環境を作って表現ができるよう配慮した。</p> <p>記録をもとに、乳幼児の関心や発見、表現を振り返った。</p> <p>※振り返りの実施方法<br/>その日に感じたことを伝えあい、クラス会議で子どもの育ちや、改善点など具体的な話をし、報告にまとめた。</p> <p>幼稚園等の各施設の教諭同士や保護者等に、探究活動の内容を共有した。</p> <p>※教諭や保護者等への共有方法<br/>掲示板に報告書を掲示し周知をした。</p> <p>次の探究活動の更なる充実に向け、新たな問いや環境の構成を考えた。</p> <p>※継続的な実施のための工夫<br/>子どもの育ちを振り返ることにより、次にすべきことが見えてくることが多かった。振り返りを丁寧に行うことで新たな問いや、環境設定につながった。</p> |        |        |        |        |        |        |    |     |     |    |    |    |

（注1）活動報告は、複数の活動内容を実施した場合は、活動ごとに記入してください。

（注2）「実施回数・期間」欄には、今年度に継続的（月を単位とする複数月）に実施した取組の実施状況を記入してください。なお、原則、単発で実施した取組については対象になりません。

（注3）「活動内容」欄には、どのような取組を行ったのかがわかるよう記入してください。また、活動報告書等、取組を行ったことがわかる書類の写しを提出してください。

## 1. 活動のテーマ、問いを考える

### 【テーマ】

リトミック(雨を楽しむ)

### 【問いを考える】

雨の日に何を感じる?

どんな音がするかなを考え表現する

## 2. 活動スケジュール

2025年4月～2026年3月

(0歳児6人・1歳児10人)

6月

## 3. 環境設定と探究活動の内容

### 【環境設定】

リトミック講師・キーボード・シート・ボール・新聞紙・スカーフ

### 【探究活動の内容】

雨の日に、窓を開けて五感を刺激する。

見た雨の粒や音、匂いなどを自分なりにどう表現するかを楽しむ

## 4. 活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり

雨の日に窓を開けてみると、言葉で表現できる子どもは「あめ」「あ」「とんとん」「ざーざー」など雨が降っていることを友だちや、保育士に教えてくれた。あめふりくまのこの歌に合わせてスカーフをあめに見立てたり、葉っぱに見立てたりしながら想像の世界を楽しんだ。高月齢の子どもは「あめ～」と言いながらスカーフが落ちてくることを楽しんでいた。雨の音をシートに乗せたボールを弾ませて再現してみると、最初の方は不思議そうに見て、聞いていたが、しばらくするとボールに合わせて一緒に弾む姿が見られた。その後の保育の中でも歌に合わせて新聞紙や、ポンポンで雨を表現してみたが、子どもたちはマントや、ボール投げなど遊びを考えだして発展させていた。



## 5. 振り返り

子どもたちが「雨」をどのように感じ、表現していくのかを観察した。じっとあめの様子を観察している様子の子、触ってみたい子ども、「雨の音がするね」と声をかけたものの、言葉で表現することは大人でも難しいと感じた。空から降ってくるもの、ということはこの年齢でも理解ができていそうだったのでいろいろなものを優しく降らせたり、上の方で音を鳴らしたり下に落ちる音を楽しんだことで、雨というものが「悪い天気」ではなく楽しめるものとして認識されたいなと思った。雨にかかわる歌でリズムカルなものも多いので、リズムに合わせた音の世界をして今後も楽しんでいきたいと思った。

## 1. 活動のテーマ、問いを考える

### 【テーマ】

リトミック(秋)

### 【問いを考える】

秋って何だろう

季節ってなんだろうを考え表現する

## 2. 活動スケジュール

2025年4月～2026年3月

(0歳児6人・1歳児10人)

10月

## 3. 環境設定と探究活動の内容

### 【環境設定】

リトミック講師・キーボード・どんぐり・ぱっぱ・絵本「まんまるおつきさま」・鈴

### 【探究活動の内容】

月や木の実等初めて見るものに興味を持ち、歌やリズムと合わせて楽しむ。

## 4. 活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり

「まんまるおつきさま」の絵本を読んで様々な表情の経験をした後、リトミックで月の話が出てくると絵本を思い出しながら夜空に見える月の様子を音楽に合わせてそれぞれが表現していた。戸外活動の中で、自然に触れる機会を多く作り、自然物に触れたり、風を感じることで「どんぐりころころ」の歌では「どんぐり」と知っていることをアピールし、手などで伝えようとする姿があった。手遊びやダンスをを保育士が音楽に合わせて楽しんでいる姿を見て子どもたちが真似をして楽しんだり、鈴で音楽に合わせて秋の虫の様子を表現しようとしたりと、積極的に参加していた。



## 5. 振り返り

この季節にしかない自然とのかかわりを大切に、日常の保育の中で見たり、触ったり、匂いをかいだり、風を感じたりということを丁寧に「冷たい風が吹いたね」「葉っぱの匂いだね」「バリバリって崩れたね」などと言葉にして伝えてきた。「どんぐりころころ」などの歌は、歌にも手遊びにもなじみはあるが、本物のどんぐりを観た後は「どんぐり」と指をさしたり、よりイメージをしながら楽しめていたように思う。葉っぱ1枚でも嬉しそうに拾って観察している様子や、言葉の出始めの子どもが「はっぱ」と発声しながらリズムの合わせた楽しむ様子などを見て、日常の体験があるからこそ音楽活動の幅も広がるように思った。リトミックの時間を子どもたちにとってのより価値ある時間にするために、日常の体験を増やし、子どもの意識に残るよう言葉かけをしていきたい。



## 1. 活動のテーマ、問いを考える

### 【テーマ】

リトミック(馬)

### 【問いを考える】

千支の馬はどんな動物かな

馬の刻むリズムはどんなリズムかな

馬になるとしたらどんな馬になろうかな

## 2. 活動スケジュール

2025年4月～2026年3月

(0歳児6人・1歳児10人)

1月

## 3. 環境設定と探究活動の内容

### 【環境設定】

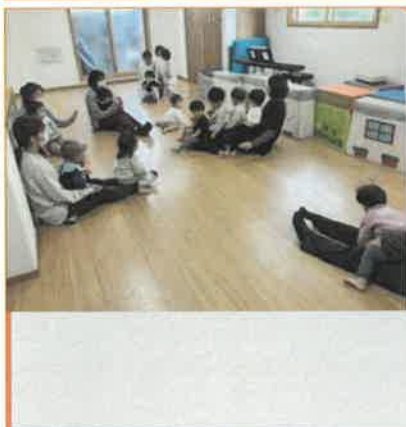
リトミック講師・キーボード

### 【探究活動の内容】

「うまはとしとし」「おんまはみんな」の歌に合わせ、様々なリズムを知る。曲を聴いて自分なりのリズムや身体表現などを楽しむ。

## 4. 活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり

「うまはとしとし」の曲に合わせ保育者の脚の上に乗る、様々なリズムを体験した後キーボードの曲が聞こえてくると、保育士のマネをして馬のように跳ねる動きをしたり、回ってみたり、その場で上下左右に揺れたり、とその子なりに聞こえた音に反応していた。「うま」を知っている子どもは四つん這いになる姿もあり、保育者が「〇〇さんはこんな風にリズムに乗ったね」など行動を言葉にすると、さらにその動きをしてみようとチャレンジする姿もあった。保育者の脚の上でリズムをとっているときの表情はどの子どもも笑顔で満足げに見えた。「もう一回」と何度もしたいと訴える姿もあった。



## 5. 振り返り

0.1歳児はふれあいを好む子どもが多く、気持ちが整って次の活動に意欲的に参加ができることを目の当たりにした思いだった。千支の「馬」をテーマに歌や、リズムをとる中で、知っている(経験している)子どもはイメージも重ねさらに動きを発展させていく様子を見ると経験はたくさんあっていいものと思った。日々の経験がリズムなどにもつながっている様子を見ることができたので、押し付けることなく、気持ちを安定させ、わくわくする気持ちを育てながら、たくさんの経験をさせていきたいと思った。

## 1. 活動のテーマ、問いを考える

### 【テーマ】

らしさの探求(リトミック(あめを楽しむ))

### 【問いを考える】

雨が降るとどんな気持ちができるかな

雨ってどんなふうに降っているかなを考え表現する

## 2. 活動スケジュール

2025年4月～2026年3月

(2歳児 11人)

6月

## 3. 環境設定と探究活動の内容

### 【環境設定】

専門的な知識を持つリトミック講師と共に、子どもたちが主体的に表現を楽しみ成長できるようキーボード、リトミックスカーフ、楽器などを用意する。

### 【探究活動の内容】

雨が降ったときに戸外に行けなくてつまらない、傘をさせてうれしい、濡れるのが嫌、等気持ちを伝えてみる。

雨はどんな音がするか、どんなふうに落ちてくるか等雨について考える。

## 4. 活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり

「あめふりくまのこ」の歌に合わせて傘をさしてみたり、魚を捕まえてみたりと想像の世界を楽しんでいた。お友達を傘に入れてあげようとするなどのかわりもあった。「たくさん降ってきた」と声をかけるとたくさんを体で表現する子どもが出てきた。どの子どもを周りの子どもが真似をして、保育士とみんなでたくさんふってきたというを共有して雨宿りにつながる場面もあった。保育士の雨粒「ぽつぽつ」という言葉に反応してジャンプをしたり、「ザーザー」という言葉に早い動きをしたりなど2歳児なりの雨の経験から、雨を楽しんでいた。



## 5. 振り返り

2歳児にとって雨とはどのようなものなのかを問いかけてみたかったが、2歳児にとって雨は雨であり、いいも悪いも好きも嫌いもなく、純粋に水のようなものが落ちてくる、たくさんだったり、ぽつぽつだったり、音もそれぞれだという感覚であることがよくわかった。天気に対して良い、悪いという考えは大人が都合で行っていることなのであろうと思い当たった。

「あめふりくまのこ」に合わせて表現をする場面では自分のわかる単語を聞いて体を動かしながら傘をさしたりする姿を見て子どもたちの想像の世界が思っているより豊かであることを思い知った。2歳児の想像の世界を邪魔することなく、存分に楽しめるようたくさんの音楽、歌、楽器など提供していきたい。



## 1. 活動のテーマ、問いを考える

### 【テーマ】

らしさの探求(リトミック(月))

### 【問いを考える】

トンボってなんだろう

月の模様って何だろうを考え表現する

## 2. 活動スケジュール

2025年4月～2026年3月

(2歳児 11人)

9月

## 3. 環境設定と探究活動の内容

### 【環境設定】

専門的な知識を持つリトミック講師と共に、子どもたちが主体的に表現を楽しみ成長できるようキーボード、リトミックスカーフ、楽器などを用意する。

### 【探究活動の内容】

夏の終わりの気温差や、公園等の風景、木の実、葉っぱ、聞こえる音、風、香り、等を感じ秋を知り、それを共有したり表現したりする。

## 4. 活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり

月を見て「なんか模様がかったよ」「うさぎさんがいるんだよ」と話をする中で保育士が「何をしているのだろうね」と語りかけると「遊んでるんだよ」と楽しいイメージが膨らんできた。夜空をイメージした曲を聞いて寝そべったりはねてみたりと様々な表現をしていた。

「大きな栗の木の下で」はなじみのある歌なので、曲が流れると体を動かしながらうたっていた。講師から「大きいのはどのくらいかな」「もっと大きい木もあるかな」「今度は小さい木」など声掛けをすることで全身を使ったり、指先を使ったりとそれぞれにイメージをかたちにしていた。「トンボのメガネ」の今日では羽を広げて走るというイメージだったのか、トンボの動きが早いことをイメージしたかったのか保育士の周りを走り回っていた。



## 5. 振り返り

月というものを意識してみることがなかったようであった。今月のウィズブック絵本が「まんまるおつきさま」なこともあり、帰宅してから月を見るということをしてもらおうと意外と曇って見えない日も多かったが、かたちの違いや模様があることなどへの気づきはあったようだった。保育中ではない経験について家庭と連携しながら、家族も巻き込んで活動ができたことが良かった。そのためか、月に関して楽しいイメージを持つ子どもが多く、楽しい表現になったように思った。トンボについても速いテンポでピアノを引いていたわけでもなかったが、子どもたちの表現が走るということだったことが面白く、今後いろいろな昆虫の歌に合わせて子どもたちのイメージを見せてもらいたいと思った。大きい小さいの表現はシンプルなようで、体の使い方がここで違い、特に指先の使い方や音に合わせて意識する子、しない子の差がはっきりしていた。この発見も含めて子どもたちの育ちを応援していきたい。

## 1. 活動のテーマ、問いを考える

### 【テーマ】

らしさの探求(リトミック(馬))

### 【問いを考える】

千支の馬はどんな動物かな

馬の刻むリズムはどんなリズムかな

馬になるとしたらどんな馬になろうかな

## 2. 活動スケジュール

2025年4月～2026年3月

(2歳児 11人)

1月

## 3. 環境設定と探究活動の内容

### 【環境設定】

専門的な知識を持つリトミック講師と共に、子どもたちが主体的に表現を楽しみ成長できるようキーボード、リトミックスカーフ、楽器などを用意する。

### 【探究活動の内容】

「うまはとしとし」「おんまはみんな」の歌に合わせていろいろなリズムがあることを伝えた中で、自分たちでリズムや表現を楽しむ。

## 4. 活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり

保育者の脚の上に乗り「うまはとしとし」のリズムを体験するときに保育者のつま先を持ち、乗馬のように乗りこなす子どもなどこどもたちなりの「馬」の経験を再現していた。「馬は速い」と速度を付けて表現したい子どもがいたため、よく知っていることを認めつつ上下にも動くことを伝えるとは寝るなどの上下運動に切り替えて伝えてくれた。整っていないながらも「ぽっくりぽっくり」などの音に合わせて動いてみようとしたり、自分のできる身体を使ったリズムの表現を楽しんでいた。手をつないでみんなで歌を歌いながら体をゆする場面では、他の友達に合わせて身体を楽しんで揺らしていた。また、マラカスを使った活動も楽しんだ。



## 5. 振り返り

「馬」というテーマに沿って動くリズムを表現したり、自分たちの知っていることを伝えあっていた。「人参を食べるんだよ」という声から、果物のかたちのマラカスをみえるところに用意してみると食べたり、音を出しながら動いたりという活動につながった。子どもの声から、活動を広げると声をかけなくても活動が広がっていくことを実感した。その後「おんまはみんな」の曲が鳴ると曲に合わせて思い思いにマラカスでリズムをとり音が曲と一体になることを楽しみながら、身体を動かしていた。楽器にも興味を示していたためマラカスの振り方で音が違うことなどを伝えようとしてくれる子どももいた。日常の保育の様子を観察しあらゆる場面ですつなげていくことで子どもがより興味を示し成長していくように感じた。



## 1. 活動のテーマ、問いを考える

### 【テーマ】

らしさの探求(リトミック(雨を楽しむ))

### 【問いを考える】

カエルの動きって?

音からどんなことをイメージする?

## 2. 活動スケジュール

2025年4月～2026年3月

(3歳児 11人)

6月

## 3. 環境設定と探究活動の内容

### 【環境設定】

専門的な知識を持つリトミック講師と共に、子どもたちが主体的に表現を楽しみ成長できるようキーボード、リトミックスカーフ、楽器などを用意する。

### 【探究活動の内容】

歌を題材にイメージ活動をする。カエルの動きを思い出して表現する。

カエルの合唱、あめふりくまのこ、はっぱのかさどうぞの歌から、歌や音に合わせてイメージしたことを表現してみる

## 4. 活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり

カエルの歌の曲がかかると子どもたちは自然に歌いだした。保育士の「カエルって…?」の問いかけに歌いながらそれぞれ思い出したカエルについて恰好やジャンプなどを伝えてくれた。ジャンプを続けていたので、フラフープを出してみると曲のリズムに合わせてとんでみる子どももいた。あめふりくまのこの歌に合わせて情景や、雨を表現していたが、くまさんを起こさないように小川の周りを友達とそーっと動く姿もあった。

曲の中にスタッカートなどのリズムが入ると跳ぶ、走る等反応して音に合わせて動いていた。拍の共有は最初は難しい子どももいたが歌に合わせて楽しみながら繰り返したことで、友達とそろって拍が打てるようになった。音に合わせてイメージしながら、止まる、動くなどの即時反応もできるようになっていった。



## 5. 振り返り

それぞれの曲や歌に合わせてイメージを膨らませながら、体を使って表現する子どもが多かった。カエルについては本物を観たことがある子どもがほとんどおらず、図鑑、動画などからの知識のもとの表現のようであった。どんなふうにジャンプするのか、どのくらい足が長いのか等本物を見せる機会を作ることができたら、表現も変わってくるように思った。

あめふりくまのこの歌はお話のようになっているので言葉を聞きながら曲に合わせて歌の世界を表現していた。歌の表紙に合わせての拍打ちでは、友達と合わせると楽しいという経験ができたようであった。一緒に合わせて一人ではできないことができるという経験につなげていきたいと思った。



## 1. 活動のテーマ、問いを考える

### 【テーマ】

らしさの探求(リトミック(月))

### 【問いを考える】

月を想像して表現してみよう

歌に合わせてトンボになってみよう

大きな栗の木の下でに合わせて手足の動きを観察してみよう

## 2. 活動スケジュール

2025年4月～2026年3月  
(3歳児 11人)  
10月

## 3. 環境設定と探究活動の内容

### 【環境設定】

専門的な知識を持つリトミック講師と共に、子どもたちが主体的に表現を楽しみ成長できるようキーボード、リトミックスカーフ、楽器などを用意する。

### 【探究活動の内容】

つき・トンボのメガネ・大きな栗の木の下での歌に合わせて、それぞれの表現をする。また自分や友だちの身体の使い方動き方を観察する。

## 4. 活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり

月を寝そべってみることを提案すると喜んで横になり月について想像している姿があった。ロケットで月に行こうと思ったのか「ロケットになる」というと、「一緒に行く」と乗り込んでいる様子もあった。

とんぼのめがねの曲に合わせてトンボを表現していた子どもたち「くっついて飛んでいたトンボがいたよ」と手をつないでトンボの表現をする姿があった。声をかけなくても曲のテンポが変わると動きが変わる子どもが多くいた。

大きな栗の木の下ででは左右対称の振り付けが多いが歌いながら、非対称の動きを提案してみると「むずかしいよ～」と声が上がっていた。



## 5. 振り返り

月の場面では、事前に月を見て観るよう声掛けをしていた中で、形が変わること、模様のようなものがあることは子どもたちが話していたので、どのような反応になるのかを楽しみにしていたところ、ただ思い出すだけではなく、行ってみるという発想になっていることに子どもたちの世界の大きさを感じた。トンボのメガネでは、ただ走ることが楽しくなってしまう子どももいたが、音やリズムが変わることを聞き取って行動を変えている子どももいた。この差が何だろうと職員間で話した結果、興味の強さかもしれないという見立てができたので、音や、リズムに対しての興味づけに力を入れていきたいと思った。大きな栗の木の下ででは、左右非対称の動きから、自分の体の使い方を知り、自分で体をコントロールしていること、どうしたら思ったように動かせるかを考えてもらいたいと思った。自分で自分の思ったように身体が動かせるということも自己肯定感を高める要因になると考え、その応援をしていきたいと思った。

## 1. 活動のテーマ、問いを考える

### 【テーマ】

らしさの探求(リトミック(馬))

### 【問いを考える】

千支の馬はどんな動物かな

馬の刻むリズムはどんなリズムかな

馬になるとしたらどんな馬になろうかな

## 2. 活動スケジュール

2025年4月～2026年3月

(3歳児 11人)

1月

## 3. 環境設定と探究活動の内容

### 【環境設定】

専門的な知識を持つリトミック講師と共に、子どもたちが主体的に表現を楽しみ成長できるようキーボード、リトミックスクーフ、楽器などを用意する。

### 【探究活動の内容】

「うまはとしとし」「おんまはみんな」の歌に合わせていろいろなリズムがあることを伝えた中で、自分たちでリズムや表現を楽しむ。

## 4. 活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり

保育士の脚に乗り「うまはとしとし」のリズムに合わせて様々なリズムの体験をした。ただ乗っているだけでなく、脚のリズムを感じ取って自分でも一緒にリズムをとる子ども、じっとして振動を感じている子ども、全身でリズムを感じたい子どもなど様々な反応があった。「おんまはみんな」の歌は曲が流れると自然に元気に歌いながらリズムをとっていた。四つん這いになって馬の動きを表現する子どももいた。マラカスを使った活動では強く振ってみる、弱く振ってみるなど自ら楽器について探索している姿があったので「どんな音がしたかな」と問いかけると、「しゃんしゃん」「がっが」等音を表現してくれた。曲が鳴ると様々な自分なりの音のなしかたで他児との調和も楽しみながら取り組んでいた。



## 5. 振り返り

講師や保育者の動きや音への反応の仕方がそれぞれ違っていたことが驚きであった。リズムの取り方も同じ馬をイメージしていても動きやリズムの取り方が違ったり、同じ音を聞いていても早く動く子、上にとぶ子、などそれぞれの表現だった。これまで各々の表現について認めて楽しんできた効果があったように思った。初めてのことはワクワクしながら話を聞いてやってみようという姿勢も見られたので、子どもたちの発達を考慮しながら様々な体の使い方を伝えていくことで、さらなる表現へとつながるのではないかと思った。



## 1. 活動のテーマ、問いを考える

### 【テーマ】

らしさの探求(リトミック(雨を楽しむ))

### 【問いを考える】

雨ってどんな音?

同じリズムで降っているかなを考え表現する

## 2. 活動スケジュール

2025年4月～2026年3月

(4歳児7名 5歳児5名)

6月

## 3. 環境設定と探究活動の内容

### 【環境設定】

専門的な知識を持つリトミック講師と共に、子どもたちが主体的に表現を楽しみ成長できるようキーボード、リトミックスカーフ、楽器などを用意する。

### 【探究活動の内容】

雨から派生した音やリズムについて考え、身体や、歌を使って表現する

## 4. 活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり

「あめふりくまのこ」の歌に合わせて歌詞の意味を理解し情景を浮かべて振り付けを考えた。山を手で表現する子ども、横に揺れてリズムを楽しむ子ども、雨を傘で表現しようとする子供とさまざまであった。保育士がそれぞれの表現を承認すると全員が同じ振り付けでなくてもいいということになり、そろいそろなところは揃えてというみんなが納得の振り付けになり、歌に合わせて楽しんだ。雨の音について子どもと話していくといろんな音が混ざっているという声が多かった。「カエルの歌をずらして歌うことでいろんな音が混ざること伝えたと興味を持ち輪唱を体験した。つられて自分のパートを歌うのは難しいようであった。逆に拍を合わせると、どうかということもしてみたところ楽しいもう一回など、一緒に同じリズムを刻むことも楽しんでいた。



## 5. 振り返り

個性的な子どもたちなので、それぞれのリズム、それぞれの動きは得意だと思っていたが、合わせる、揃えるといったところにも「そろった～」とよろこびを感じているようであった。個性を大切にしつつ、一人ではできないことがみんなできたり、力を合わせるとできるという経験を子どもたち自身も喜ぶのだということがわかった。なかなかそろわない子どもについてよく観察してみると、走り方や、歌い方にも特徴があるように思った。体の使い方や、日常の経験などからアプローチを考え、かかわっていきたいと思う。

## 1. 活動のテーマ、問いを考える

### 【テーマ】

らしさの探求(リトミック(秋))

### 【問いを考える】

聞こえる虫の声ってどんな音色?

葉っぱの音や踏んだ感覚が再現できるかな

## 2. 活動スケジュール

2025年4月～2026年3月

(4歳児7名 5歳児5名)

11月

## 3. 環境設定と探究活動の内容

### 【環境設定】

専門的な知識を持つリトミック講師と共に、子どもたちが主体的に表現を楽しみ成長できるようキーボード、リトミックスカーフ、楽器などを用意する。

### 【探究活動の内容】

秋の虫や、自然を音や動きで再現してみる。また、秋の歌に合わせて友だちと、決まりを守りながらリズム打ちをして一緒に楽しむ。

## 4. 活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり

リトミック講師に公園で草の上で遊んだ話をすると、草の上に座ってみよう「草」の歌を歌ってみようと、草の感触を思い出しながら、歌を歌っていた。虫の声の歌では、コオロギの声などを真似する場面もあった。歌のようにはっきりとリンリン等とは表現せず、高い音を出して似せようとしていた。保育者が「虫の声はどこから出るのかな」の問いに「羽からだよ」「こするんだって」など答える子どもがいた。スカーフとひもをこすりながら、キーボードの虫の音に合わせて動いていた。

虫の声に合わせてながらぶつからないように交互にリズム打ちにも挑戦をした。何度か行っているうちに歌いながら相手のリズムを感じつつ二人でリズムを奏でることに成功していた。



## 5. 振り返り

子どもたちに葉っぱの上で遊んだことを聞くと「冷たかった」「くしゃくしゃ、バキバキって音がした」等感じたことをたくさん教えてくれた。その後に本当に葉っぱの上に座っているかのように表現できるところを無くさないようにかかわっていきたくと思った。スカーフをはねに見立ててきれいな音に乗せては音を出して動いてみようというところでは自分が音を出しているように嬉しそうに音に合わせて早く動いたり、ゆっくり動いたりしていた。曲に合わせて動くことの気持ちよさのようなものを伝えてくれているように思った。リズム打ちでは歌うことと、お互いに交互にリズムを打つことを同時にすることは、様々な機能を使わなければならないことで、難しいことなのだとならためて気づいた。保育者の励まして繰り返し挑戦し、歌いながらリズムをとって喜んでいる姿が見れたので、こちらも楽しみながら、適度に励ます術をさらにスキルアップさせていかなければならないと感じた。



## 1. 活動のテーマ、問いを考える

### 【テーマ】

リトミック(馬)

### 【問いを考える】

千支の馬はどんな動物かな

馬の刻むリズムはどんなリズムかな

馬になるとしたらどんな馬になろうかな

## 2. 活動スケジュール

2025年4月～2026年3月

(4歳児6名・5歳児5名)

1月

## 3. 環境設定と探究活動の内容

### 【環境設定】

リトミック講師・キーボード・フラフープ

### 【探究活動の内容】

「うまはとしとし」「おんまはみんな」の歌、お餅つきに合わせいろいろなリズムがあることを伝えた中で、自分たちでリズムや表現を楽しむ。

## 4. 活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり

馬の歌をうたいながら、脚でリズムをとったり、馬になりきって表現をしたりした。足でリズムをとるときに両足をそろえてリズムをとる子どもがいたり、左右の足で違う動きをしてリズムを打つ子どもがいたり歌に合わせたリズム表現が様々で、保育士がそのことを言葉にすると、友達の様子をまねしたりする姿もあった。左右別々に足を動かしてリズムをとることが難しい子どももいた。フラフープをうすに見立てて2人組で餅つきをした。息を合わせて「ぺったん」「とん」と交互にうすに触る動きは慣れてくるとほとんどの子どもが楽しんで行い、ペースを上げるなどペアで発展させていた。「ペッタン」「トントン」などリズムを変えてみようと思えば最初はどうもうまくいかないペアが多かったが、繰り返しチャレンジしていた。



## 5. 振り返り

足でリズムをとるときに、左右で違う動きをすることがまだ難しい発達段階だということに気づかされた。しかしながら、一緒に隣で見本を見せながら行うと動かせるようになり、満足そうにしている姿を見て、ちょっと難しいと思うことにもチャレンジして達成することは心を育てることにつながるように思った。リズム遊びの中でもこのようなことができるという発見にもなった。友達とリズムを作って楽しむということについても、合奏などの大掛かりなものでもなくとも、お餅つきなど生活の中にありそうなことを素材にリズムにしたり、仲間と一緒に表現したりすることも、一つのものを作り上げることに繋がらうと思った。